

作文ワーク 常体と敬体

問題	次の文章を視写し、書き方の違うところに線を引きなさい。
今年も、私は、家族と一緒に海へ行く。今からとても楽しみだ。	今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。
「今年も、私は、家族と一緒に海へ行く。今からとても楽しみだ。」「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」	「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」
へ問題の答え▼	へ問題の答え▼
「今年も、私は、家族と一緒に海へ行く。今からとても楽しみだ。」「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」	「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」
「です・ます」をつけない書き方を常体とします。	「です・ます」をつけない書き方を常体とします。
「です・ます」をつける書き方を敬体といいます。	「です・ます」をつける書き方を敬体といいます。

問題	次の文章を視写し、書き方の違うところに線を引きなさい。
今年も、私は、家族と一緒に海へ行く。今からとても楽しみだ。	今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。
「今年も、私は、家族と一緒に海へ行く。今からとても楽しみだ。」「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」	「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」
へ問題の答え▼	へ問題の答え▼
「今年も、私は、家族と一緒に海へ行く。今からとても楽しみだ。」「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」	「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」「今年も、私は、家族と一緒に海へ行きます。今からとても楽しみだ。」
「です・ます」をつけない書き方を常体とします。	「です・ます」をつけない書き方を常体とします。
「です・ます」をつける書き方を敬体といいます。	「です・ます」をつける書き方を敬体といいます。